

日本経済：消費者物価（2024年10月）

コアコアは小幅に伸びを拡大も、一般サービス価格の伸びは鈍化

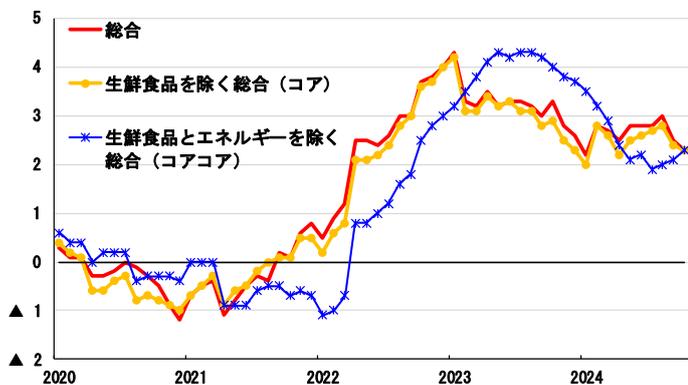
2024年10月の消費者物価は、総合で前年同月比+2.3%、生鮮食品を除く総合(コア)で+2.3%で前月から伸びが縮小。一方、生鮮食品とエネルギーを除く総合(コアコア)は+2.3%で前月から伸びを高めた。エネルギー価格が総合とコアの伸びの縮小に大きく影響した一方、うるち米が前月からさらに伸びを高め、前年比の伸びを押し上げる方向に寄与した。サービスは伸びを拡大したが、うち一般サービスは動きに乏しく、伸びは前月から小幅に縮小した。

総合とコアは伸びを縮小、コアコアは伸びを拡大

2024年10月の消費者物価指数(全国)は、総合で前年同月比+2.3%と、9月(+2.5%)から縮小。生鮮食品を除く総合(コア)も+2.3%と、前月の+2.4%から縮小した。一方、生鮮食品及びエネルギーを除く総合(コアコア)は+2.3%で前月の+2.1%から伸びを高めた(左下図)。

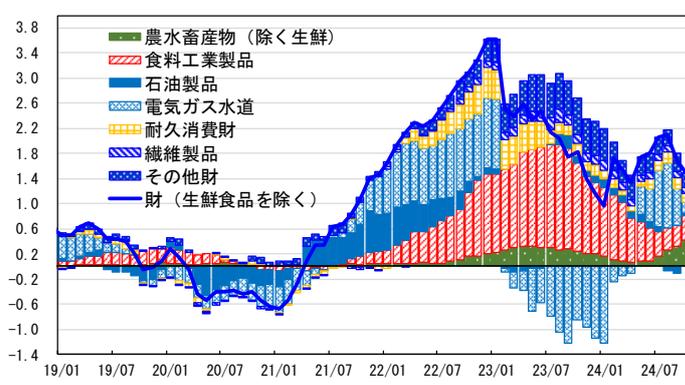
コアに対する財の寄与度をみると、まず、電気・都市ガス・水道に含まれるエネルギー価格が前月の+6.0%から+2.3%に縮小したことが、上昇率を押し下げた。前年10月に「電気・ガス価格激変緩和対策事業」による電気・ガス代の値引き幅が縮小した影響で、9月から10月にかけての上昇幅が大きめに縮小した。一方で、農水畜産物(除く生鮮)に含まれるうるち米は、前月の+46.3%から+60.3%にさらに伸び率を高め、コアの押し上げに寄与した(右下図)。

全国消費者物価(前年同月比、%)



(出所)総務省

生鮮食品を除く財(コアへの寄与度、%)



(出所)総務省

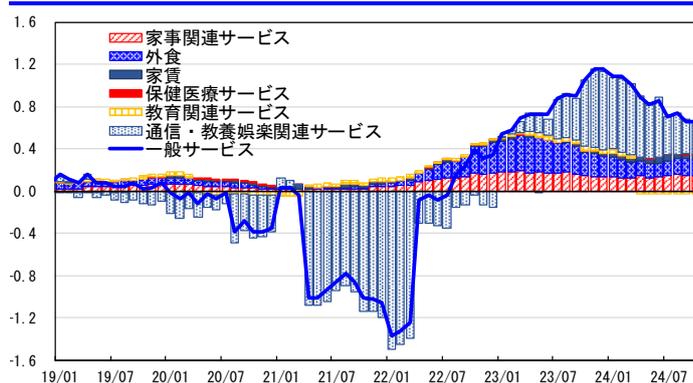
サービスは伸びを小幅に拡大するも、うち一般サービスは小幅の縮小

サービスは前年比+1.5%と、前月の+1.3%から小幅に上昇。公共サービスに含まれる火災・地震保険料が、10月に実施された火災保険料改定を反映し、前月の+2.7%から+7.0%に上昇したことが影響した。一方で、一般サービスは+1.7%と、前月の+1.8%から小幅に縮小した(次頁右図)。一般サービスに含ま

れる主要な品目のうち 8 割程度は前年比プラスとなっているものの、これらのうち 10 月に前月から伸びを拡大した品目は、2 割程度にとどまっております。一層の伸びの拡大には一服感がみられる。

前月から伸びが縮小、または不変であった品目には、過去 1 年以内に価格改定とみられる大きめの動きがあったことにより、その後足もとにかけての動意が乏しくなっているものも含まれるが、賃金上昇のサービス価格への反映を測る上では、これらの品目も含め、引き続き動向を注視していきたい。

一般サービス(コアへの寄与度、%)



(出所)総務省